



全国の学生から集まった夢を紹介!



タウンワーク **TOWNWORK** Presents

キャンパスライフ・プラスワン

Campus Life+1 通信

～教えて!みんなの夢～ Vol.19

学生の皆さんへの夢募集企画

「Campus Life+1」に

お寄せいただいた夢をご紹介します。

どのような夢を持っているのか?

その夢を持つに至った背景は?

今、どんなことに取り組んでいるの?

全国の学生の皆さんの「夢」に迫ります!

Profile

東京農業大学1年生
松原優奈さん(20歳)

中学生の頃読んだ漫画に強い影響を受け、酪農や農業に興味を持ち農業大学に入学。大学では、「よさこい」のサークルに入り、全国各地で演舞を披露している。



日本各地を食べ歩き、 日本一の卵かけごはんを探したい

私は、とにかく食べるのが大好きです。そんな私の夢は、日本各地で食べ歩きをし、日本一の卵かけごはんを探すことです。そう思うようになったのは、浪人生時代に予備校の先生からいただいた丹波栗がきっかけでした。その丹波栗は最上級の品質のもので、特別な調理を施したわけではないのにすごく美味しくて、素材の味でここまで変わるのかと衝撃を受けました。その際、先生から卵かけごはんほど素材の味で左右されるものはないと聞き、興味を持つようになりました。それからというもの、日本各地の卵を取り寄せて、卵かけごはんを作って食べ比べをしています。卵によって味や口の中に入れたときの風味、黄身の弾力の違いが如実に表れるため、半年間続けても一向に飽きません。また、私はよさこいの部活に所属しており、週末に遠征に行くことがあります。そこで、ご当地の卵や卵かけご飯に合う醤油を買ったり、大学で卵について研究している教授に話を聞きに行くなど、日夜卵かけごはんの研究に励んでいます。

一方で、卵かけごはんをきっかけに様々な「素材」を使った食品加工にも興味を持つようになりました。

た。例えば、豆腐を作る際に大豆の種類やその日の温度、蒸らす時間で味が全然違って来るように、食品加工は非常に奥深く、自分でもヨーグルトや納豆を作るようになりました。毎日配合を変えて作っているのですが、なかなか思うような味にならず、食品加工の難しさを実感しています。

来年から大学での授業で、食品加工の研究を本格的に始める予定です。素材と加工の両方の研究をしつつ、日本一の卵かけごはんを探したいです。



▲現在は主に、畜産物の品種や飼ひ方、餌について勉強をしている。
来年から始まる食品加工の研究が楽しみで仕方ないとのこと。

夢への 足跡

2007年 13歳

酪農や農業をテーマにした漫画を読み、生物や農作物について強い興味を持つ始める

2013年 19歳

浪人生時代、予備校の先生に最高級の丹波栗を食べさせてもらう。素材による味の違いに衝撃を受け、卵かけごはんに興味を持つ

2014年 20歳

大学のよさこいサークルに入り、全国遠征をしつつ各地の卵を食べ比べる

2014年 20歳

日本一の卵かけごはんを探したいと
Campus Life+1
に応募



主催: **E-entac!**

協賛: **TOWNWORK**

お問い合わせ先: 学生コミュニティサロン「エンタク」
TEL052-241-8100 (受付時間/平日9:00~18:00)

Campus Life+1の最新情報を掲載中!

エンタク

検索

<http://entac.jp/>

RECRUIT